

講義名	言語と社会(17)			授業形態	
担当教員	池田 俊之 / 森 宏子	開講期・曜日・時限	前期 水曜日 2 時限		
		単位数	2	履修開始年次	1 年生
				ナンバリング・コード	FRL100
主題と概要					
本学独自のCan-doリストに基づき、英語と中国語の基本的な定型表現を身に付けることによって、異文化と多様性を理解する態度・姿勢を育成します。全15回の授業を前半7回・後半8回に分けて、英語と中国語の二言語を学習します。なお、クラスによって、英語中国語あるいは中国語英語と授業進行が異なるります。英語中国語のクラスは後半の中国語が 8回、中国語英語のクラスは後半の英語が 8回となります。					
到達目標					
英語と中国語の二言語の基本的な特徴と構造を理解し、短期間海外に滞在することとを想定しながら、ホテル・食事・買い物など の実際の場面で 初歩の会話が できるようになる。					
提出課題					
適宜指示します。					
課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法					
小テストは次回の授業で 講評を行います。（中）					
評価の基準					
評価の内訳は以下の通り（英・中とも同じ）：クイズ（毎回授業で実施する小テスト）50%、授業参加度・授業態度50%。両言語の評価の合計を100点に換算。					
履修にあたっての注意・助言他					
出席欠席にも厳格なルールがあります。全15回の授業のうち、欠席5回で不合格となります。15分までの遅刻は、遅刻3回で欠席1回の扱い。					
教科書					
.教材はプリントを配布します。					
参考図書					
.必要に応じて案内します。					

その他		
必要に応じて適宜指示します。		
授業計画		
1. 英語Unit 1: Introducing yourself 予習：シラバスを熟読し、授業準備をする（2時間） / 復習：テキストの音読・単語の復習（2時間）		
2. 英語Unit 2: Talking about interests and hobbies 予習：分からない単語を調べる（2時間） / 復習：テキストの音読・単語の復習（2時間）		
3. 英語Unit 3: Airport and immigration 予習：分からない単語を調べる（2時間） / 復習：テキストの音読・単語の復習（2時間）		
4. 英語Unit 4: Hotel 予習：分からない単語を調べる（2時間） / 復習：テキストの音読・単語の復習（2時間）		
5. 英語Unit 5: Fast food restaurant 予習：分からない単語を調べる（2時間） / 復習：テキストの音読・単語の復習（2時間）		
6. 英語Unit 6: Shopping 予習：分からない単語を調べる（2時間） / 復習：テキストの音読・単語の復習（2時間）		
7. 英語Unit 7: Directions 予習：分からない単語を調べる（2時間） / 復習：テキストの音読・単語の復習（2時間）		
8. 中国語第1課「中国のひと・くに・ことは」 予習：図書館やインターネットで中国や中国語について調べる（2時間） / 復習：教材プリントのふり返し・残りのドリル（2時間）		
9. 中国語第2課「中国語のしくみを知る」 予習：単語帳（簡体字・ピンイン練習）（2時間） / 復習：会話文の音読・残りのドリル（2時間）		
10. 中国語第3課「自己紹介」 予習：単語帳（簡体字・ピンイン練習）（2時間） / 復習：会話文の音読・残りのドリル（2時間）		
11. 中国語第4課「あれは何て、すか」 予習：単語帳（簡体字・ピンイン練習）（2時間） / 復習：会話文の音読・残りのドリル（2時間）		
12. 中国語第5課「きょうた いはいますか」 予習：単語帳（簡体字・ピンイン練習）（2時間） / 復習：会話文の音読・残りのドリル（2時間）		
13. 中国語第6課「とこへ行くので、すか」 予習：単語帳（簡体字・ピンイン練習）（2時間） / 復習：会話文の音読・残りのドリル（2時間）		
14. 中国語第7課「今日はわたしがおちそうします」 予習：単語帳（簡体字・ピンイン練習）（2時間） / 復習：会話文の音読・残りのドリル（2時間）		
15. 英語 / 中国語：まとめUnit （英）予習：分からない単語を調べる（2時間） / 復習：テキストの音読・単語の復習（2時間） （中）予習：単語帳（簡体字・ピンイン練習）（2時間） / 復習：会話文の音読・残りのドリル（2時間）		
授業形態（アクティブ・ラーニング）		
ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	○	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連		
外国語を用いて「人と円滑なコミュニケーションをとることができる」資質・能力を育み、商学部生に求められる「各業界の動向や問題点を理解するための基礎知識」、経済学部生に求められる「人間、社会に関するこれまでの学問的成果の基礎」、人間社会学部生に求められる「日常生活と文化といった現実社会の様々なテーマ」に習熟し「コミュニケーション能力」の育成を目指します。		
双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述		
実務経験の有無及び活用		
備考		